

キャンプファイアー・キャンドルサービス

- 1 ねらい ○火を囲んで歌ったりゲームをしたりして楽しみ、仲間との親睦を図るとともに互いの絆を深める。
○暗闇と静寂の中で、火を見つめながら活動を振り返り、思い出を分かち合う。
- 2 活動場所 キャンプファイアー（野外）…… くりの木ファイアー場、まつかさファイアー場
※3団体以上の場合は松岡公園で行う場合もあります。
キャンドルサービス（屋内）…… チャレンジ広場、どろんこ広場 等
- 3 所要時間 1～1.5時間程度
- 4 対象 希望される団体全て
- 5 実際の活動

《 キャンプファイアー 》

①ボンファイアー

大きな火を囲んで歌や踊り、ゲームなどのプログラムで大いに楽しもうとするもの。

②カウンスルファイアー

厳粛な雰囲気の中でキャンプの心構えや決意を火に誓おうとするもの。

③グループファイアー

形式にこだわらず少人数でたき火を囲みながら語らいを中心として進めるもの。

《 キャンドルサービス 》

ローソクの炎を一人ひとりに点火し、自分の決意や思いを炎に込めて語り合うセレモニー。ボンファイアー的要素を取り入れ、ゲームなどのプログラムで楽しんでもよい。

6 準備物

自然の家から提供できる物 【 】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○キャンプファイアー用薪（要事前申込） 【薪置き場】	●歌やダンスのCDなど（必要な場合）
○「営火長」「火の巫女」の衣装と冠 【事務室前の棚】	
○トーチ棒セット（要事前申込） 【事務室前の棚】	
○マッチ、なた、新聞紙など 【事務室前の棚】	
○CDラジカセ、ワイヤレスアンプ 【事務室前の棚】	
○一輪車、スコップ 【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】	

7 指導上の留意点

- ◆近年、環境問題に配慮し、ボンファイアーを自粛する団体が増えてきました。キャンプファイアーの意義や活動プログラム上の位置づけを確認し、どのようなタイプのキャンプファイアーが適切かをよくお考えのうえ取り組んでください。
- ◆火の取り扱いには充分気をつけ、担当者が責任をもって火の管理をしてください。なお、キャンプファイアーの場合は、燃え残りが出ないように、炎がおき火になるまで担当者が火のそばに付いて管理してください。
- ◆灰については、翌日の朝、完全に灰になった状態を確認後、くりの木ファイアー場わきの「灰捨て場」に利用団体で片付けてください。
- ◆「炎が大きすぎた」「飛び火した」等の非常時に備えて、水道・ホースの位置を明るいうちに確認しておいてください。
- ◆マイク・拡声器等を使用する際の大音量や奇声を上げるなど、他の団体に迷惑にならないようにご留意ください。

キャンプファイアー展開例 ※ボンファイアーを中心とした三部構成の例

展 開	担 当	内 容 な ど
第1部 迎火のつどい ①入 場 ②はじめのことば ③歌1 ④営火入場 ⑤点 火 ⑥歌2	エールマスター エールマスター 火の巫女 営火長（火の神） 火の巫女 エールマスター	○全員ファイアー場に静かに入場する。火床を囲んで円形に集合する。 「今日一日、私たちの活動を明るく照らしてくれた太陽も、西のかなたへと沈んでいきました。さあ、営火を迎える歌をみんなで歌いましょう。」 ○『遠き山に日は落ちて』を歌う。2番からハミング。 ○ハミングに合わせて入場し、場内を一周する。 ○営火長より火や人間の生活にまつわる話をする。 例「今、火の巫女によって運ばれてきたこの小さな火は、この集いの輪に明るさを与えてくれました。火は遠い昔から私たちに生きることの喜びや勇気を与えてくれたものです。火を見つめていると体が温まるだけでなく、心をわきたたせる不思議な力もみなぎってきます。さあ、この火がみんなにたくましく生きる力とあたたかい心を与えてくれるように、みんなの願いをこめましょう。」 ○ゆっくり前に進み、トーチから点火する。 ○『燃えろよ燃えろ』を歌う。
第2部 親睦のつどい ①ゲーム ②フォークダンス	エールマスター	○ゲームやフォークダンスなどを入れて、全体を盛り上げていく。ただしあまり大声を上げたり騒いだりしない程度に。
第3部 送火のつどい ①黙 想 ②採 火 ④分 火 ⑤誓いのことば ⑥退場・歌3	エールマスター 火の巫女 営火長（火の神） 火の巫女 代表者 エールマスター エールマスター	○各自黙想し、1分たったと思ったら立ち上がる。 ○ゆっくり前に進み、トーチに採火する。 ○営火長よりまとめの話をする。 例「大きく燃え上がっていた炎も、小さな炎となりました。この炎を見つめながら、もう一度今日一日を振り返ってみましょう。人は誰でも一人きりでは生きていけません。互いに助け合い、励ましあってこそ人間なのです。今日のすばらしい思い出を胸に刻んだみなさんは、きっと明日から、たくましく力いっぱい、そしてあたたかい心をしっかり持って、豊かな学校生活（社会生活）を送っていくことができるでしょう。」 ○班長などのグループの代表者が前に進み、火の巫女から分火してもらう。 ○グループごと『誓いのことば』を述べ、代表者から全員に分火していく。 ○『今日の日はさようなら』を歌う。2番からハミングしながら静かに退場する。

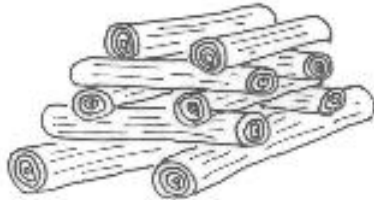
<役割分担>

- ・エールマスター 司会進行役（1～3名）
- ・営火長（火の神） 各団体の代表者（1名）
- ・火の巫女 火の点火役（2～3名）
- ・ファイアーキーパー 火の管理（大人数名）

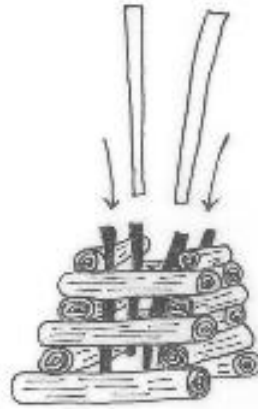
キャンプファイアーのポイント！

各部ごとに雰囲気を変えて展開することが大切です。第一部と第三部は厳かで静かな雰囲気、第二部は楽しく和やかな雰囲気で行うようにしましょう。そして参加者全員の協力が必要不可欠です。

資料1 キャンプファイアー（大）の組み方 ～井げた式～



①火床に新聞紙を軽く丸めてしき、井げたに組んでいく。



②開けたの四隅に細木4本を立てかけ、バタ板を入れていく。

キャンプファイアーを行うにあたっての厳守事項

◆ 薪の量が団体の規模や活動時間に合っているのかを十分に検討する。

※薪の量は以下の3タイプから選択してください。

<小>炊飯用薪と同じもの →約1時間燃焼

<中>バタ板3束を半分にしたもの →約2時間燃焼

<大>丸太10本+バタ板2束 →約4時間燃焼

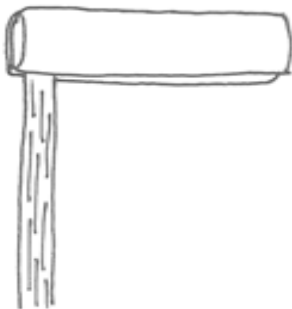
◆ 点火してから灯油をかけたり、火の中に灯油のついた物を投げ込んだりしない。

◆ 燃え残りを出さないように、おき火になるまで火の管理を徹底する。

資料2 トーチ棒の作り方（※ホームページに動画資料がございます）

①布の両端を真ん中でたたんで棒をはさみ、棒の焦げているほうに巻く。

②針金を先のほうに引っ掛け、下に向かって巻いていく。



※トーチ棒の燃焼時間は、7分間が目安となります。巻き方や灯油の量、気温等で差異が出ますことをご了承ください。